

ODA

第 143 号

るり子やりん

2019 発行
11月行

◎特集 一流しのUDタクシー乗車拒否ドキュメント! 2p

お宅訪問記 砂川秀樹さん 3p

会員投稿 バリアフリーな首里城の再建を!

新婚さんメンソレー!

10ヶ月の長〜い褥瘡^{じよくそう}入院生活

活動アラカルト 沖縄県知事あてにバリアフリー施策の要請行動
観光バリアフリーアドバイザー活動/ポッチャ体験

第2回役員会 九州ブロック会議参加/赤い羽根共同募金

新年交流会のご案内/テレワーク教室 入門編講座開催のお知らせ
第3回ゆんたくカフェ開催します/平田かおり自叙伝「雑草魂」出版

8p

7p

6p

5p

4p

4p

お知らせ 編集後記 8p

NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL.098-961-6715/FAX.098-961-6716
〒901-2121 沖縄県浦添市内間5丁目4番3号 ハウジングシーサー101号
E-mail office@okisekikyo.com
ホームページ http://okisekikyo.com/
facebook https://fb.com/okisekikyo Skype ID:okisekikyo

流しのUDタクシー乗車拒否ドキュメント！



10月30日に全国一斉行われたUDタクシー乗車調査活動に賛同して、周辺のUDタクシー調査のために夕方に那覇市の新都心地区で流しのタクシー待ちました。

50分経過して、やっと空車のUDタクシー1台が挙げた手に停まってくれました。以降、そのやりとりです。

仲根：乗車したいのですが大丈夫ですか？

運転手：(後部座席下に格納しているスロープを見せながら) ん～、スロープ等がありますが、(私は) 研修受けていないんですよ。乗車は難しいと思います。

仲根：助手席を前にスライドすれば、車いすが乗車できるスペースができるので乗れると思いますよ。

運転手：助手席はスライドできません。(と言いつつ動かしてみると前に大きくスライドして空間が広がった。) あっ、できるんですね。それでもシートベルト装着方法を知らないのでもやはり乗車は難しいですね。

仲根：これは乗車拒否ということになると思いますがそれでよいですか？

運転手：そういうことでしたら乗車拒否になる

と思いますよ。

仲根：実は今日はUDタクシー一斉乗車行動の取り組みで、停めさせていただきました。

名刺をお渡ししますので、会社にこのことをしっかり報告していただけますか？

運転手：はい、わかりました。伝えます。すみませんでした。



やり取りしたタクシー会社は以前から問題ありのところで、予約の電話を入れても、あれやこれやと断る口実をする会社で要注意でした。

今回の乗車のやり取りを動画撮影しましたが、インターネット上で公開すると問題が出そうなので止めましたが、全国脊髄損傷者者連合会として経過を集約してアクションする予定です。

DPI日本会議が11月12日に発表した調査結果では、**車いす利用者延べ120人の乗車調査をしたところ、27%にあたる32人が乗車拒否**などで乗車できませんでした。中には運転手がスロープの設置方法を知らないケースもありました。同会議は国土交通省に改善を求めるとのこと。沖脊協は今後もこの問題の改善に向けて引き続きアクションをしていきます。(仲根)



民間車検場(沖指第590号)/(株)ミクニライフ&オート総合代理店

ニッシン自動車工業沖縄

身体障がい者用自動車運転装置・福祉車両製作・販売・レンタカー・車検・一般修理・板金塗装

TEL: (098) 958-6556
FAX: (098) 958-6522

〒904-0302 沖縄県中頭郡読谷村喜名 219
E-mail: info@nissin-okinawa.info

代表 山城 貞二



すながわ ひでき
砂川 秀樹さん

**娘が生まれ6か月後に頸損事故。
今は穏やかな日々です。**

1997年12月に仕事中の転落でC4・5を損傷。事故時は首から体が切り離された感覚があったので、周りの人に聞いたのは「自分の首から下はあるか？」でした。運ばれた救急病院は県立名護病院。

7か月の入院でしたが、リハビリのことで主ドクターとも意見が合わなくなってしまったこともあり、入院中に褥瘡で入院していた脊損患者さんから「神奈川県立リハビリテーションセンター」のことを聞いて、神奈川県立リハビリテーションセンターに転院。

その転院の間の在宅1か月について、妻のるり子さんは、「あの頃のことを振り返ると恐ろしい出来事でした。娘のまりは生後6か月の赤ちゃんで、てんやわんや。ヘルパー制度もなく、すべて私に対応しなければならぬ状況の中、ひや汗、痺れといった原因がわからないことにうろろしたり、2時間おきの体位交換、鼻からの淡吸引と眠れない日々。乳飲み子を抱えて気が狂いそうになる日々でした」と壮絶な話は、当時の在宅療養の制度・仕組みの貧弱さを露呈したと思います。

神奈川県立リハ入院時は、るり子さんも同行し寄り添って一緒にリハビリに励み。脊損病棟があることで周りに頸損も多く、リハビリだけでなく介護者向けの専門的なアドバイスも含めて充実した入院生活でした。

帰沖後の在宅1年ほどで、役場に相談し訪問入浴サービスに始まり、それから訪問介護と徐々に福祉サービス利用につながってきていました。しかし、当時は家族がない場合は利用ができない等不便さも多かったようです。

そうこうしているうちに屋嘉在の方と沖脊協会の洲鎌さんと繋がり、私のことを聞いたらしく電話がかかってきてピアサポート訪問を受けました。

その時は同会員の大城昌彦さん・岸本政弘さんらも一緒でした。その後、何回かの訪問を受け、その度に車いすツインバスケットに誘われました(勧誘?)。

それからしばらくして、るり子さんの介助同行でツインバスケットに行くようになりました。

その後は、お酒を飲むためにバスケット練習に行くほどに楽しみで、みんな和気あいあい介護者同士も支えあっていたことを思い出します。

それでも年と共に骨の拘縮が強くなり、練習に行けなくのまままらなくなってしまいました。

金武町屋嘉にバリアフリー住宅を建てて転居した後は、金武町社会福祉協議会と繋がり、訪問介護・訪問看護のサービス利用を通して金武町身体障害者協会活動に参加するようになり、役員や会長を担うようになっていきました。たまには金武町の方々と麻雀などして楽しんでます。

振り返ると、事故時の福祉サービスないないづくしの時に比べると、今は充実したサービス環境はありがたいと感じます。今後はのんびり、ゆったりと過ごし、そして娘、孫と家族に囲まれて生活していくことができると思います。(秀樹さんの表情は穏やかな幸せそうな顔でした。仲根)



からだの痛み・悩みを
自宅で解消!



代表 **林 秀一**

TEL: 098-867-0006

FAX: 098-867-0008

〒900-0004

那覇市銘苅2-11-19

グローヴィーサイト新都心2F

琉球治療院

リハビリ・はり・きゅう・マッサージ

年中無休 9:00~18:00

沖縄県内全域で出張施術します。



フリーダイヤル

0120-680-006

mail info@ryukyu-chiryoin.com http://www.ryukyu-chiryoin.com/

会員投稿

バリアフリーな首里城の再建を！



世界遺産首里城の火災はあまりにも衝撃でした。

1994年に米国の障がい者運

動家マイケル・ウィンター氏らを沖縄に招いたときに首里城を見学し「文化遺産の建築物でこれほどまでにアクセシブルなところは経験がない素晴らしい」と絶賛されたことを思い出します。7種の昇降機を駆使し車いすユーザーにとって優しい設計でした。

再建に向けての動きが活発化すると思いますが、沖縄協としてもバリアフリー整備化に貢献できるように関わっていければと思います。(仲根建作)



新婚さんメンソーレー！

千葉県支部の飯岡支部長が、なーんと新婚旅行で沖縄旅行に!! わざわざ沖縄協事務所に寄ってくれました。幸せオーラが凄くて、めっちゃ羨ましいー!

沖縄協から紹介した介護タクシーめぐり@花城さん案内で沖縄を満喫してくれたようです。全国の脊損会員の皆様、旅行は沖縄ですよー。お待ちしております。



交通事故の法律相談

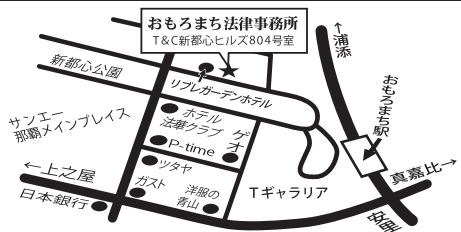
人身事故被害に関する法律相談は、
おもろまち法律事務所へ

那覇市おもろまち4-17-25T&C新都心ヒルズ804号室

弁護士 坂井大高(沖縄弁護士会所属)

【完全予約制】☎(098) 963-6268

※ ご予約の際「しゃりん」を見たとお伝えください。



◆人身事故被害の【無料】法律相談を実施しています。移動が困難な方には、出張相談や電話相談のご利用が可能な場合もありますので、お問い合わせください。

相談例：後遺障害等級、賠償金額の増額交渉、休業損害、慰謝料、労働能力喪失率、治療の打ち切り、自宅改造費用など

ちはる歯科クリニック

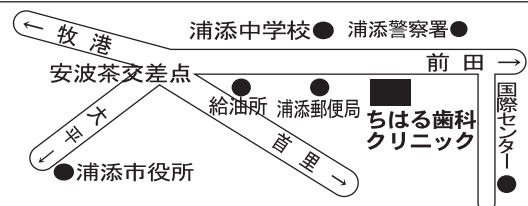
CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保険施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。


 会員投稿

 じょくそう
 10ヶ月の長～い褥瘡入院生活

自分はT10の脊髄損傷で右坐骨部の褥瘡で約10ヶ月入院。こまめにプッシュアップしていれば大丈夫と思っていた。4年前にも褥瘡で入院した経験から、こまめなプッシュアップを心がけていたつもりだった。でも米粒大の傷ができ出血。寝ては治すを繰り返していたら中にポケットができて入院となった。

切って悪い部分を取り除き傷が塞がれば治ると思ったが、2ヶ月経っても塞がらずもう一度(デブリードマン)切開した。切開することで早く治ることもあるそうだ。しかし、塞がるのにさらに2ヶ月以上かかった。

その間お尻に負担をかけないために左向きに寝ることになる。ずっと左向きになっていると左の大転子が褥瘡にならないか心配。だけどうつ伏せは短時間(20分が限界、ひざが赤くなったり胸が苦しくなったり)なのでほとんどが左向き。少し角度を変えて褥瘡予防をする程度。なのでテレビを左側に置いて一日中テレビと睨めっこ。リハビリはベットの上で左足を動かす程度(右足を動かして傷を広げたらダメなので先生の許可が出るまでNG)。リハビリの先生が気を使って俺の体調しただがベットごとリハビリ室まで移動してくれて気分転換をさせてくれた。日曜・祝日などはリハビリは無し。食事は可もなく不可もなく。

やっとの思いで塞がってベット上で座るも切れる。それを数回繰り返した。(栄養面では問題無いと言われていたのでそこは考えてなかった。)

もうこの病院ではできないと思い、セカンドオピニオンを決意する。直接先生に言ったら角が立つと思い、リハビリの先生にお願いすると気持ちよく承諾してくれ、転院できた。

転院先の病院では約5時間の手術となった。右太腿裏の皮膚を右のお尻に持ってくる手術で、今までの中で大手術となった。全身麻酔は初めての経験。起きたら頭はモワっとするし、喉は感触が変だし…とにかく初めて尽くし。

そこからが大変で、高熱は出すは、気持ちが悪く食欲は無いわで約一週間はしんどかった。それでも最後は治って退院できると信じて毎日を過ごす。

手術から約4週間、傷が塞がりベット上で座ってもお尻の傷は開かなくなった。とても嬉しかった。ただ、体が硬くなっていたのでベット上で前屈運動し

て横になっていたら、しばらくして看護師の人たちが来てくれて着替えをしようと毛布をめくったら出血しているのに気づき、大騒ぎ。

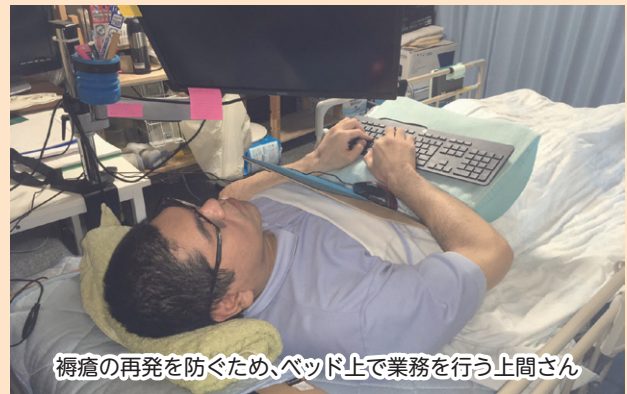
右裏太腿の手術跡からの出血らしく急ぎよ先生を呼び、ベット上で緊急縫合手術となる。不覚にも先生の前で泣いてしまった。

傷の治りが遅いと判断した先生が血液検査をしたところ、亜鉛不足と判断され、亜鉛の薬を処方されました。そしたら前は4週間かかった傷が約2週間で塞がり、そこからは順調に進み、一ヶ月半のリハビリを経て退院することができました。とても嬉しかったです。スタッフの皆さんありがとうございました。

退院後は、坐骨部の褥瘡は心配なく過ごしています。しかし縫合したところの皮膚が薄く、少しでも擦るとすぐに出血します。今は擦らない工夫と、長時間車椅子に乗らない事、それと弱い部位にはクッション素材のばんそうこうみたいなやつを貼って保護しています。

最後に、お見舞いに来てくださった方々、障がい者ITサポートおきなわの支援員、セカンドオピニオンを強く押してくださった相談員さん、本当にありがとうございます。心から感謝です。

(上間智也)



褥瘡の再発を防ぐため、ベット上で業務を行う上間さん



10ヶ月の入院後、ほっそりしましたが元気な姿を見せました

活動アラカルト

沖縄県知事あてに バリアフリー施策の要請行動



11月20日に沖縄県へバリアフリー施策3つの要請をしてきました。

要望1：ゆいレール駅舎のモノレールとホームの昇降スロープの固定整備

要請先：沖縄都市モノレール株式会社モノレール課
【理由】現在の空港駅から儀保町駅については、駅員によるスロープ上げ下げをリモートコントロールで行っており、結果として、下車時に駅員がいないことで下車できない等のヒューマンエラーが発生していることから、早期に固定のスロープ整備を図る必要がある

要望2：路線バスのノンステップバス運行情報の適切な情報公開

要請先：沖縄県交通政策課
【理由】民間事業者のノンステップバス導入に関する沖縄県の支援施策として平成24年10月1日制定された「沖縄県公共交通利用環境改善事業実施要領」の第11条に「(2)定時定路線における運行を優先した運行計画の策定に努めること。(3)利用に先立ち、運航状況を事業者に問いあわせる労を当該利用者強いることがないよう努めること。」と記載されているが、ノンステップバス運行情報が不明確で適切な情報提供になっていなく戸惑っている。

要望3：福祉のまちづくり審議会の早期開催

要請先：沖縄県障害福祉課

【理由】同条例の「第30条：県における福祉のまちづくりの推進に関する重要事項について、知事の諮問に応じ調査審議させるため、沖縄県福祉のまちづ

くり審議会（以下「審議会」という。）を置く。」とありますが、平成25年度を最後に審議会開催が無く、バリアフリー推進施策の研究協議、意見提言につながっておりません。

観光バリアフリーアドバイザー活動



11月8日に（株）ルフト・トラベルレンタカーへ観光バリアフリーアドバイザーとして講話。

障がい全般と車いす利用者の障害の特性について理解していただくとともに、障害者差別解消法を学び、お客様への適切な接遇につなげるため事例を通した対応を学んでもらい、施設のバリアフリーチェックをしました。施設はバリアフリーでしたので、サービスとしてハンディキャップ、手動装置付きレンタカーの導入を希望しました。



ボッチャ体験

11月9日、北中城村にある村民体育館で所長と事務局の小倉さんと自分の3人でボッチャ体験をしてきました。

1チーム3人での競技だったので、ギリギリの人数で参加しました。4チームによる予選をトップで通過し、決勝トーナメントも余裕で勝って優勝できるって思っていましたが見事に1回戦で負けてしまいましたが、楽しめたので良かったです。

国体に県代表として参加する選手のデモもあり、やっぱり凄いなと思いました。(友利克也)



第2回役員会開催

11月21日(木)に今年度2回目となる役員会が行われました(6名出席)主に今後開催されるイベントなどの日程などの報告がなされました。

報告では10月30日に行った「UDタクシー齊乗車調査」での詳細な経緯報告や、11月21日の「バリアフリー施策の要望書提出行動」の活動報告も併せてされました。

沖脊協では役員会などの会議では、自宅から出席できない役員のために、オンライン会議も活用しています。(小倉)

赤い羽根共同募金

10月1日火曜日、パレットくもじイベント広場にて、沖脊協で毎年助成を受けている赤い羽根共同募金の「赤い羽根空の第一便伝達式」が行われました。

台風接近のため開催が心配されましたが、無事に開催することができました。

助成を受けている団体や県の関係者、また寄附いただいている企業様も多数が参加していました。会場には沖縄フェニックスの皆さんも出席しており、一緒に並んで整列していました。

式終了後に行われた街頭募金にもITサポートおきなわから一緒に3名参加し、呼びかけをしました。皆さまも街で見かけましたら、ぜひ募金をお願いします。(小倉)



九州ブロック会議参加

去った10月18日に「第43回九州ブロック会議」が福岡県のクローバープラザ内で行われました。沖脊協からは理事の砂川が参加しました。同時に現在全脊連本部と利用を推進しているピアサポートシステムについての研修会も開きました。

ブロック会議では沖縄を含む福岡・大分・熊本・宮崎・鹿児島を合わせ全部で6県が参加。今年はさらに規模が縮小され、挨拶では本部からお越しいただいた大濱代表がされたものの全体的に質素なものとなりました。(砂川)

R.C.Y.
Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック
やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝1-10-28

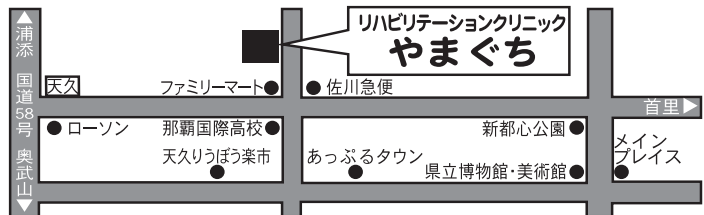
TEL098-864-1100

診療スタッフ

院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

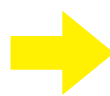
診療科目/リハビリテーション科・整形外科	▶身体機能訓練
診療時間	▶身体能力訓練
午前 9:00~11:30	▶言語訓練
午後 2:00~ 6:00	▶摂食嚥下訓練
	▶認知訓練

安らぎ・癒し・元気を提供します。



2019年度より会費額を改正しました。ご協力お願いします。

変更前 年額 **6,000円**
(月額500円)



変更後 年額 **3,600円**
(月額300円)

理由は、会費を減額し負担軽減することと会費徴収事務の効率化を理由としておこないます。ついては、会費の納付について、**自動引き落とし制度を導入します**。5/26日の総会後に会員宅に郵送等により自動引き落としの依頼をさせていただきますのでご協力をお願いいたします。



新年交流会のご案内

毎年恒例となりました、「新年交流会」を下記の日程で開催します。おいしい料理を食べながら、みんなでゆんたくしませんか。



【日時】令和2年(2020年)1/18(土)
18:30~20:30(18:00受付開始)

【会場】アイランドグリル那覇(ジミー那覇店内)
那覇市銘苅3-8-5
駐車場あり

【会費】ディナービッフェ(ソフトドリンク込)
大人500円(会員、家族、介助者)
小学生~高校生300円

※未就学児は無料

1,000円追加でアルコール飲み放題

※アルコール飲み放題は事前予約が必要です。希望される方は申し込み時にお願ひします。

【申込】後日、会員へ案内書を送付します。
同封の返信ハガキにてお申込み下さい。

『テレワーク教室 入門編』 講座開催のお知らせ

「テレワーク」という言葉を耳にした事はあるけど、どういう仕組みで、どういった仕事をするのか、よく分からない方へ向けた講習会を開きます。

将来テレワークで仕事がしたいと思っている障がい者の方を対象に、「テレワーク教室 入門編」を開催します。実際にテレワークで仕事をしている重度障がいの方の話も伺う予定です。

この講習会を機に、テレワークへの第一歩をスタートしてみませんか？

【日時】2019年12月14日(土)14:00~17:00

【場所】那覇市IT創造館 IT研修室

【料金】無料

【人数】15人(先着順)

【お申込み方法】

主催の沖縄県障がい者ITサポートセンターのWebサイトをご覧ください。下記URLや上のQRコードからも直接申し込みが可能です。
<http://bit.ly/2WRpbba>



第3回ゆんたくカフェ開催します

前は台風のため開催が延期されました「ゆんたくカフェ」ですが、今回は北部ぎのぎで開催します。場所は昨年リニューアルした「道の駅ぎのぎ」です。参加は北部地域外の方でもOK。年末のお忙しいときとは思いますが、ぜひみんなでゆんたくしましょう！！

【日時】12月15日(日)12:00~14:00

【会場】道の駅ぎのぎ

(沖縄県国頭郡宜野座村字漢那1633番地)

※雨天決行

☎098-961-6715 担当 仲根・小倉

平田かおり自叙伝『雑草魂』出版

会員の平田かおりさんが自身の壮絶な人生を綴った自叙伝『雑草魂』をリリースしました。驚くべきことに内容は全てかおりさん自身で作文。書いてあるキーワードだけを見ても非行、借金、妊娠・結婚、脊髄損傷、出産、DV、離婚、金メダルなど、波瀾万丈かつバイタリティあふれる活動が目を引きまします。

価格は税込1,650円、電子書籍版はAmazonで1,500円で購入できます。

電子書籍版はスマホやパソコンで閲覧できるので本をめくれない方でも介助なしに読めます。ぜひご購入を。事務局にも10冊ありますのでご希望の方は事務局へご連絡ください。直接かおりさん本人から購入も可能です。

(かおりさんの連絡先：090-5489-9163)



死線をさまよう交通事故、家庭内暴力、泥沼の不倫、母の愛、障害者スナック経営、ジャパンパラリンピック銀メダル...

絶望と希望 を見た著者が綴る
悲しみや苛立ち、苦しみ
を乗り越える真実のストーリー

編集後記

最近、沖縄協会の会員で褥瘡になったという情報をよく耳にするようになりました。褥瘡で苦しんでいる方へ少しでも情報を提供・共有できるように体験談を集めております。情報提供やリクエストがありましたら事務局まで。(砂川)